



# はちまたい

## 議会だより

No. 8  
2007年7月20日

HACHIMANTAI GIKAI DAYORI



### 主な内容

- 6月定例会を開催……………2
- 第三セクターの経営状況を報告……5
- 一般質問に9人が登壇……………6

# 安代防災センター工事契約を議決

# 災害に強い市を目指す



6月20日、本会議開会前の議場を田山小学校3年の皆さんが見学しました

市議会第2回（6月）定例会は、6月14日から20日まで開催しました。一般質問では、古川津好議員をはじめとする9人が登壇し、西根バイパス第2期工事の完成予定や行政改革の進捗状況などを質問しました（6頁14頁参照）。また、今回の定例会では、第三セクター4社の経営状況を含む8件の行政報告のほか、「安代地区防災センター」建築工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについてなど、合わせて14議案を審議。いずれも原案のとおり可決しました。

## 報告

### ◎株式会社コスモプラザ西根ほか3社の経営状況

本市が出資する第三セクター4社における平成18年度の経営状況を報告したもので、4社のうち2社が黒字でした。このほか、社団法人八幡平市体育協会の経営状況や、平成18年度一般会計繰越明許費繰越計算書などが報告されました。（詳しくは5ページをご覧ください）

### ▼株式会社コスモプラザ西根

**問** 赤字決算であっても株主配当をすることに對し、市民は納得しないのではないか。

**答** 出資団体の赤字には、出資金を即引き揚げるといふ財務省の指導もある。剰余金が出ている間は配当するべきだ。

**問** 本来、利益に對しての配当が会社のあるべき形ではないか。  
**答** 利益があるうちは、出資金の株式に對して配当するものだ。会社法では、剰余金から自己株式の帳簿価格などを控除した剰余金が分配可能額で、その純資産

額が300万円以上ある場合は配当できる。

### ▼株式会社安代産業振興公社

**問** 岩手競馬が廃止になった場合、テレポートラック部門の営業について内部検討をしているのか。

**答** 廃止された場合は、働いている職員の対策が課題だと考えている。第三セクターの行革プランにおいて、セクターの統合あるいは職員の会社内人事交流を図り、サービス向上など柔軟な対応を計画している。

**問** 営業計画では赤字の見通し



だが、どんな議論があったか。

**答** 物産部門で、ヤマブドウの生産、品質的に日本一というブランドを進めるためには、当分は宣伝活動効果を上げる必要から、一時期の赤字もやむを得ないと考えている。

**問** 林業センターは、集客増により実績が上がったが、内容は。  
**答** 専門の営業担当を置いて活動した結果である。

**問** 集客の計画は。  
**答** 老人クラブへの宣伝やサッカー、ラグビーなどの夏合宿の営業活動をした。

**▼八幡平温泉開発株式会社**  
**問** 売り上げにトラウトガーデンの売却分も含まれているのは、土地分譲収入の内容にそぐわないと思うが、その明細は。  
**答** トラウトガーデン分が1億6221万円、分譲地分は1490万円を見込んでいる。

**問** 売却するトラウトガーデンの土地その他の簿価はいくらか。  
**答** 建物などが6567万円、土地が7000万円である。

**▼株式会社松尾ふるさと振興公社**  
**問** 割引入浴券がなくなった際

の利用者への対策は。

**答** 使い切った割引券の表紙を提示する事で同様の割引を各施設の企業努力で続ける。

**問** 施設賃借料無償化はなぜか。  
**答** 施設は行政財産であり、賃借はできないことになっていくことから、無償化した。

**問** 支配人の人件費がない事が黒字要因とすれば、支配人は不要なのか。  
**答** 本来必要な職務だが、経営実態上、その人件費を出せない。

**問** ホロホロ鳥事業の今後は。  
**答** 公社では施設を借り、修繕をしながら維持しているが、新たにこの事業を継続する方があれば引き継ぎたい。

### 全会一致で可決したもの

◎人権擁護委員候補者の推せん  
に  
関  
し  
意  
見  
を  
求  
め  
る  
こ  
と  
に  
つ  
い  
て



安保忠雄氏

9月30日をもって、人権擁護

委員としての任期が満了する川又玉藏氏（下毛川原）の後任として、川又氏と同じ安代地区の安保忠雄氏（沢口）を推せんしようとするものです。

◎平成18年度八幡平市一般会計  
補正予算（第7号）の専決処分  
に  
関  
し  
承  
認  
を  
求  
め  
る  
こ  
と  
に  
つ  
い  
て

歳入歳出それぞれに1億8006万8000円を追加したものです。補正の主なものは、特別地方交付税や災害復旧費補助金の確定などです。

◎安代地区防災センター建築工事の請負契約の締結に  
関  
し  
議  
決  
を  
求  
め  
る  
こ  
と  
に  
つ  
い  
て

安代地区防災センター建築工事の請負契約を、株式会社吉田組・山本建設株式会社特定建設工事共同企業体と締結しようとするものです。（契約金額は2億1420万円）

◎財産の取得に  
関  
し  
議  
決  
を  
求  
め  
る  
こ  
と  
に  
つ  
い  
て

田山スキー場や矢神飛躍台競技場施設用備品として、ウインチ搭載型圧雪車1台を購入しようとするものです。（取得予定金額は5071万5000円）

◎八幡平市戸別浄化槽の整備に  
関  
する  
条  
例  
の  
一  
部  
を  
改  
正  
す  
る  
条  
例

国の取扱要領改正に伴い、標準事業費や分担金限度額の見直しなどをしようとするものです。（7月1日施行）

◎八幡平市国民健康保険条例の  
一  
部  
を  
改  
正  
す  
る  
条  
例

国民健康保険運営協議会委員に、被用者保険等保険者を代表とする委員を加えようとするものです。（9月1日施行）

◎八幡平市工場等設置奨励条例  
の  
一  
部  
を  
改  
正  
す  
る  
条  
例

特定区域に工場を設置した場合の優遇措置を講じようとするものです。（6月25日施行）

**問** どんな企業が対象になるか。  
**答** 現在盛岡北部工業団地にあるような製造業などのほか、学術・研究機関なども対象となる。

◎八幡平市火葬場条例の一部を  
改  
正  
す  
る  
条  
例

指定管理者による管理の規定を整備しようとするものです。（6月25日施行）

### 賛成多数で可決したもの

◎八幡平市税条例の一部を改正  
す  
る  
条  
例  
の  
専  
決  
処  
分  
に  
関  
し  
承  
認

を  
求  
め  
る  
こ  
と  
に  
つ  
い  
て

地方税法の一部を改正する法律が3月30日に公布され、原則として4月1日から施行されるため、八幡平市税条例の一部を改正したものです。

なお、主な改正点は次のとおりです。

▼家屋のバリアフリー化に対し、固定資産税を減額

▼国民健康保険税の課税限度額を53万円から56万円に引き上げ

▼たばこ税を本則課税に改正

**問** 国民健康保険税の課税限度額の引き上げで、該当する被保険者世帯数は。  
**答** 128戸で、引き上げ前より53戸で税額が増える。



安代地区防災センターは、八幡平消防署安代出張所の右隣に建設予定です



大更（下町）学童保育クラブでは、現在27人が利用しています

賛成多数で可決（前ページの続き）

◎平成19年度八幡平市一般会計  
補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれに2億3678万5000円を追加しようとするもので、主な内容は次のとおりです。

- ▼松尾庁舎耐震診断及び建築設備等調査業務委託料356万円
- ▼テレビ難視聴地域解消事業費補助金624万4000円
- ▼子育て支援指導員報酬111万6000円
- ▼学童保育指導員賃金165万4000円
- ▼市道大更西線舗装工事及び市

道吹田小柳田線改良舗装工事  
3540万円

▼ひかりサポート推進員報酬279万6000円

問 松尾庁舎耐震診断及び建築設備等調査委託費は、新庁舎建設絡みの目的では。

答 松尾庁舎は耐用年数が20年あるが、老朽化が全体的に進み大規模な補修が必要であり、庁舎建設の必要性について検討するために概算額を示した事と、県から松尾総合支所に対し、耐震について診断を受けるようにとの通知が来たためである。

問 自治会活動費補助金対象に本年度から安代地区も入ったが、小規模自治会もあり、3万円という均等割に問題はないか。

答 西根、松尾地区の実態から、均等割額を動かすと、自治会活動の支援の仕方に方針がいまいだという批判を受けることになる。全体に及ぼす影響が大きくなった時は直しも考えたい。

問 今現在、市では協働のまちづくりの中、地域振興協議会を立ち上げているが、公民館の使用料などの内容について伺う。

答 施設を使った時は、基本的に利用料を払うと考えていただき、減免の制度を利用しながら、広く活用していただきたい。

問 テレビ難視聴地域解消事業

の対策地域はどこか。また、田頭地域の東慈寺周辺も電波の受けが悪い所があるが対応を伺う。

答 安代地区の黒沢地域で、地上デジタル化への対応も含めた事業を進める。東慈寺周辺については問い合わせに対応したい。

問 テレビの地上デジタルサービスを受けられない地域の実情を、当局としてどう把握しているのか。今後どう対応するのか。

答 デジタル対応は重要な課題だと思っている。市長会でも国に対し強く要望しているので、今後、国の出方を見て考えたい。

問 岩手県公共嘱託登記土地家屋調査士協会という団体が不動産セミナーを開催した。研究会後に懇親会を開催したが、常識的に考えて盛岡のホテルで会費2000円は接待行為と受け取

られても仕方がないと思うが。

答 セミナーの案内は市役所にもあり、国土調査の関連を勉強するため担当職員を参加させたが懇親会には出席していない。セミナーそのものは否定しないが、こういった懇親会については配慮するべきと思っている。

問 介護事業で、本市でもコムスンと同じような事実があった。事実をいつ把握したか。また、利用者の施設移動は行われたか。

答 この事で情報があり、盛岡北部行政事務組合から県に情報を伝え、県が監査して不正請求が発覚した。利用者の移動については、17人中11人は移動し、6人は利用を少し休んでから考えたいとのことだった。

問 大更学童保育クラブの下町公民館使用に当たり、地域との

理解の上で使用されているのか。

答 大更公民館新設までの短期使用ということで、維持管理費も含めて下町の公民館長と合意している。

問 助産師は、具体的に何をどうしてもらう方なのか。

答 特に妊婦、新生児の訪問で、母親学級が月1回、乳児検診が月1回である。

問 高校野球に市総合運動公園球場も使っていたらいいが、運動公園の看板が見えないとの苦情が毎年来ている。何らかの手立てが必要ではないか。

答 案内板の設置などは当然考えなければならぬ。自前であり金を掛けない形で案内標識を作りながら歓迎し、盛り上げてもらいたいと考えている。

問 平成28年に第21回国体が開催されるが、本市では冬季国体の経験があり、施設整備も整っていて経済効果も期待できる。正式に申請する考えはあるのか。

答 スキー国体は本市が主体となり行っていきたい。ただ、それぞれ激しい競争が予想され、ぜひ競争に打ち勝つような意識構成を図っていく。

（一般会計に続いて提案された特別会計3会計および事業会計1会計の補正予算は、全会一致で可決しました）



平成17年2月22日から25日まで、安代町で開催された第60回国民体育大会冬季大会

## 第三セクターの状況など説明

# 行政報告

6月19日、議案審議に先立ち行政報告が行われ、第三セクター4社の経営状況のほか、繰越明許（現年度事業の予算を翌年度に繰り越すこと）など9件について市当局の説明を受けました。



民間に譲渡されたトラウトガーデン

### ◎株式会社コスモプラザ西根

▶ 岩手山焼走り国際交流村が開館8年目で80万人の温泉利用客数を達成。売上高は、前年度比5.2%増の1億2,750万円だったが、損益実績（収入から支出を引いた金額）は1,999万円の赤字

▶ 道の駅にしね生産物直売施設の売上高は2億2,968万円（前年度比6.9%増）で、損益実績は1,620万円の黒字

### ◎株式会社安代産業振興公社

▶ テレトラックは、入場者数が4,348人増えたが、売上高は3,633万円で、前年度より1,645万円減少

▶ 綿帽子温泉館「あずみの湯」の入浴者は、前年度より656人多い46,805人で、売店売上高も前年度比140万円増の557万円

▶ 安代林業センターの宿泊人数は前年度より836人多い5,621人で、売上高は696万円増の5,379万円

▶ 物産は、山ぶどうワインなどの売上高が1,562万円となり、前年度より724万円の大幅増

### ◎八幡平温泉開発株式会社

▶ 給湯事業では、18年度で新規に別荘5戸へ温泉給湯を開始

▶ 八幡平温泉館「森乃湯」の入浴者は、前年度より5,000人ほど増加

▶ 不動産事業は、建売1棟、仲介2件を成約

▶ トラウトガーデンを株式会社エコワに譲渡

### ◎株式会社松尾ふるさと振興公社

▶ なかやま荘は、日帰り入浴者が昨年度よりも24%増加

▶ ほろほろ鳥は、ほぼ前年度並みに推移

▶ 松尾八幡平物産館「あすびーて」は、売店部門が前年度比21%の増

### ◎社団法人八幡平市体育協会

▶ 体育施設20施設の利用状況は、市総合運動公園体育館など11施設で前年度を上回ったが、全体では、前年度を8,704人下回る160,410人が利用

### ◎平成18年度八幡平市一般会計繰越明許費繰越計算書

▶ 道路橋りょう災害復旧事業や市道前森山線道路改良事業など16件、9億1,045万円を繰り越し

### ◎平成18年度八幡平市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

▶ 2件、4億3,939万円を繰り越し

表 第三セクター4社の経営状況

区分	16年度実績	17年度実績	18年度実績			19年度計画	
			収入の部	支出の部	合計		
株式会社 コスモプラザ西根	国際交流村	-659万円	-2,710万円	1億2,774万円	1億4,773万円	-1,999万円	-420万円
	生産物直売所	1,014万円	1,037万円	2億3,452万円	2億1,832万円	1,620万円	1,935万円
	合計	355万円	-1,673万円	3億6,226万円	3億6,605万円	-379万円	1,515万円
株式会社 安代産業振興公社	テレトラック	136万円	253万円	3,946万円	4,164万円	-218万円	14万円
	温泉館	-666万円	-569万円	3,688万円	4,233万円	-545万円	-223万円
	林業センター	-448万円	-563万円	5,431万円	4,976万円	455万円	248万円
	物産	-32万円	114万円	1,563万円	1,592万円	-29万円	-390万円
合計	-1,010万円	-765万円	1億4,628万円	1億4,965万円	-337万円	-351万円	
八幡平温泉開発 株式会社	給湯	1,462万円	1,161万円	9,475万円	8,850万円	626万円	-1,957万円
	温泉館	-686万円	-785万円	3,347万円	3,243万円	102万円	-139万円
	不動産		868万円	849万円	1,410万円	-560万円	7,689万円
	トラウトガーデン			4,701万円	4,748万円	-47万円	-45万円
	合計	776万円	1,244万円	1億8,372万円	1億8,251万円	121万円	5,548万円
株式会社 松尾ふるさと 振興公社	本社費用		-199万円			-307万円	-129万円
	なかやま荘	-938万円	-762万円	7,429万円	7,190万円	239万円	277万円
	ほろほろ鳥	-134万円	-79万円	626万円	594万円	33万円	48万円
	物産館	-643万円	-271万円	3,581万円	3,222万円	359万円	271万円
	トラウトガーデン		-601万円				
	ミネラルウォーター		-706万円				
合計	-1,715万円	-2,618万円	1億1,636万円	1億1,006万円	324万円	467万円	



緑松会 古川津好 議員

## 今回質問した項目

- ・水田の減反について
- ・市に係る道路について
- ・観光振興について

## 水田の減反対策

## 早めの情報提供で農家の協力求める

**古川議員** 市が生産調整に

直接かかわらなくなったためか、水稲作付けの割当面積超過が懸念されている。今後の市の取り組みを伺う。

**市長** ことしから農業者と農業団体が主体的に生産調整に取り組むことになり、強制感が薄まった事は否めないと認識している。生産調整が未達成だと市全体への産地づくり交付金が減額される恐れがあるので、加工用米で対応している。今後は、JAなどへの早めの情報提供をし、農家には来年度の作付けへの理解と協力をいただくよう取り組む。

### 本市から盛岡までの国道整備の見通しは

**古川議員** 県南との経済格差を縮めるためにも、道路整備は重要である。八幡平

市から盛岡までの国道の整備状況はどうか。

**市長** 国道4号の「分れ」から盛岡までの片側2車線化は、本年度は調査設計を実施すること。一本木バイパスは用地交渉の難航や県予算が厳しい状況から、完成時期は予算に大きく左右されるものと思っている。

### 工事が中断した市道今後再開する計画は

**古川議員** 市内には、道路改良工事が中断し、途中から狭いままの状態で長い時間が経過した道路が数カ所ある。今後、これらの道路整備はどうするか。

**市長** 大半が用地交渉の難航によるものであり、それらについては今後、再度地権者との話し合いを深めながら完成に努めたい。

### 市道中田線の改良をどのように進めるか

**古川議員** 先に請願もあった市道中田線を、今後どのように整備していくか。

**市長** 市の総合計画に盛り込まれた重要な路線である。今後の「まちづくり」の基幹道路となるものでもあり、負担の少ない制度で実施に鋭意努力したい。

### 観光客入り込み目標達成に向けた対策は

**古川議員** 平成27年の観光客500万人の入り込み目標への取り組みと学習院跡地入口を含めて、周辺の案内看板などの整備にどのように取り組むか。

**市長** 減少しているスキー客対策や、北東北3県合同

による事業などにより目標に近づきたい。看板などの整備は、学習院跡地だけではなく、廃屋アパート、中

和処理施設など一体として整備していく構想を練りつつ、観光振興の戦略としてやらなければと考えている。



転作確認作業は、図面と台帳を元に1筆ずつ現地で確認を行います

# 一般質問 ここが



政高会 田村 孝 議員

# 聞きたい

## 今回質問した項目

- ・行政改革について
- ・協働のまちづくりについて
- ・納税貯蓄組合補助金について

## 行政改革の進捗状況と今後

### おおむね順調に進んでいる

**田村議員** 行政改革の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

市長 八幡平市においても、平成18年2月に八幡平市行政改革大綱を策定して、内部組織の八幡平市行政改革推進本部の会議を5回、民



行政改革の一環として、日曜日などの一部を除き開館時間が2時間延長になり、午後7時まで利用できるようになった市立図書館

間の委員から構成されている八幡平市行政改革懇談会を7回開催し、同年12月に八幡平市行政改革大綱実施計画を策定したものである。年度途中であったが、31項目の特定項目に各担当部署で取り組み、6月7日に行政改革推進本部会議を開催し、18年度の取り組み実績および19年度の取り組み内容について会議を開催したところである。

**田村議員** 計画どおりに進んでいるのか。

**企画総務部長** 19年4月からスタートしているものとしては、「西根地区学校給食センター調理部門の民間委託」「図書館の開館時間延長」「行政区再編」などがあり、おおむね順調に進んでいる。

### 協働のまちづくりに 本市の特色生かそう

**田村議員** 今やどの自治体でも協働のまちづくりに力を注いでいるが、一般的に市町村の特色を生かした発想が少ない。本市が内外に誇りを語るに、何についてかを伺う。

**市長** 市民と行政の役割分担を明確にする市民参加、まちづくりを推進していかなければならないと考えている。さらには市民主導へという市民が主体となったまちづくりが求められている。盛岡以北の拠点都市を目指し、市民一人ひとりが住んでよかったと心から感じる事ができるまちづくりに取り組んでまいりたい。

### 納税貯蓄組合補助金 使い方に制約あるか

**田村議員** 納税貯蓄組合補助金の使い方は組合で自由なのか、市条例があるのか。  
**市長** 納税貯蓄組合補助金の用途については、納税貯蓄組合法および同法施行令で対象期間、対象経費が定められている。対象期間は、前年10月1日から翌年9月30日まで、対象経費は使用人の給料、事務所使用料、帳簿書類の購入費、さらに事務費としては、会議費および研修費に充てることとされている。補助金の基本割1組合2万円、組合員割1人800円と定めている。



緑松会 大和田 順一 議員

## 今回質問した項目

- ・行財政の効率化の取り組みについて
- ・助産師の活用による妊産婦支援について
- ・柏台出張所の見直しについて

## 組織一体化と効率的体制の構築

## 合併によるメリットを追及

**大和田議員** 市政発展と推進に一層の行財政改革と機構改革を進めるため、組織の一体化と効率的体制の構築の考えは。

**市長** 合併による効率性のほか、費用対効果の検証や新しい公共空間など、市にふさわしい組織を波及し市民サービスの低下しない組織確立を目指したい。

**大和田議員** 新庁舎建設と本庁総合支所の役割を伺う。

**市長** 特に本庁が狭い事や、分散しての非効率の解消を図る事が必要で、窓口体制整備も含め総合的に勘案し検討したい。

**大和田議員** 庁舎建設に際し、仮に20億円の特例債を発行した場合（基金は年2億円ずつ積立中）、自主財源を6億円とし、利息3%で20年償還した場合、負担が約8億2400万円にな

る。庁舎建設により、組織や機構改革を進め、仮に職員10人削減できた場合、年間約7000万円の削減になり、20年間で14億円の削減となり、合併効果を出せると思うが。

**財政課長** 単純な計算では、そのような計算は成り立つ。

## 助産師の活用による妊産婦支援の充実を

**大和田議員** 助産師活用による妊産婦支援について、情報技術を活用した妊婦の遠隔検診システム導入に取り組む考えはないか。

**市長** 財政負担など、詳細は明確になっていないが、前向きに慎重に検討したい。

**大和田議員** 助産師と看護師、保健師などの連携について伺う。

**市長** 7月から助産師の協

力で、妊婦や新生児の訪問や各指導も含め支援したい。

## 柏台出張所見直しは住民に説明と理解を

**大和田議員** 柏台出張所について、今後の地域への説明と進め方は。

**市長** 出張所の業務、内容を精査し、6月から11月にかけて、畑、柏台、金沢温泉郷地区で各3回ほど十分な説明を行い、合意形成を進めたい。

**大和田議員** 代替措置などの提案についての考え方は。

**市長** 公金は金融機関窓口で取り扱いや推進が可能であり、各種証明書の発行は、郵便局における取り扱いに関する法律が施行され、委託する代替措置を検討している。事前協議、規約制定、議会の議決、協定締結など

手続きが必要で、サービス水準を維持し、行政経費の

節減を図ることを基本に進めたい。



個人情報の漏えい防止を目的に開催された情報セキュリティ研修会（1月23日）

# 一般質問 ここが



八起会 小笠原 壽 男 議員

# 聞きたい

## 今回質問した項目

- ・集中改革プランについて
- ・除雪費について
- ・人口高齢化対策について

## 投票所再編は地域の実情考慮すべき

### 集落の利便性に配慮し検討

**小笠原議員** 集中改革プランで検討するとしている、選挙投票所の見直しの内容を示せ。

**市長** 市内44カ所の投票所があるが、投票管理事務の合理化を図ることと、集落の状況や、選挙人の数、交



現在、本市では44カ所（西根22、松尾7、安代15）の投票所で投票が行われます（写真・平館体育館）

通の利便性などを十分に配慮の上で再編を検討する。

**小笠原議員** 選挙の投票は、政治への関心度、あるいは地域づくりのバロメーターと考える。行財政の効率化だけでなく、地域の実情を考慮して検討するべき。

**市長** 投票所は地域バランスを配慮し設置することが肝要であり、地域性を精査して再編を進める。

**小笠原議員** 市内の各行政区では、行政連絡員以外で公務に携わる班長の公務災害補償適用はないと聞くが、万が一の事故被害などに備え適用するよう改正すべきと考えるがいかが。

**市長** 行政連絡員から依頼を受けて住民のために活動するものであり、全国町村会総合賠償保険制度での賠償保険の対象となる。

### 除雪業務発注基準で待機料支払う考えは

**小笠原議員** 18年度の除雪費は、委託事業費が前年度比較で約4割削減されたが、一方で受託業者は死活問題だったと聞いている。労働者の就業機会の提供拡大を

図ることなどから、19年度の積算基準を見直し、待機料などの前払いを検討する考えはないか。

**市長** 除雪業務で重機の稼働がない場合は、待機料の支払いは難しいが、今後県や近隣市町村の在り方について調査検討を加え、業者も安心して業務に取り組みやすいよう、経費の持ち方を検討する。

**小笠原議員** 八幡平市に人口の高齢化率が50%を越す集落が13ある。いわゆる限界集落は農地の耕作放棄、山林の荒廃が進み、地域振興活動の停滞など地域振興上大きな危惧を感じる。限界集落地域を対象とした振興対策の必要性の是非について市長の見解を問う。

**市長** 高齢化率が50%を越えるいわゆる限界集落は、地域の連帯感、地域資源の管理に大きな影響が出るものと考え、担い手の確保対策が必要と認識している。八幡平市として協働のまちづくりによる集落自治会活動の支援や、振興協議会への支援で、各種施策との連携や整合を図りながら振興対策に取り組む。



無党派 北口和男 議員

## 今回質問した項目

・観光振興について

# 来訪者に分かりやすい住所表示

## 地域にふさわしい表示を模索

**北口議員** 市内には、国道、

県道、市道と、車社会の生活には欠かせない道路が多いが、県内外、外国人観光客、市内来訪者に親切で分かりやすい住所表示案内板を主要道路に設置して、さすがに観光都市八幡平市であることをPRするべきと思うが何う。

**市長** 住所表示については、財源の関係から、大変難しい状況と認識している。

国、県道に係る住所表示に関しては、関係機関と協議を重ねてまいりたい。市道への住所表示に関しては、地域にふさわしい表示を模索している状況である。

また、観光案内板の設置については、県へ補助金制度の要望を出しているのですが、今後、市観光協会など、関係機関と連携を取りながら進める。

## 松川に遊歩道整備し 滞在型の観光振興を

**北口議員** 松川自然休養林

キャンプ場から松川地熱発電所までの間には、青沼、影沼、五葉沼、石沼、御護沼、松川玄武岩、工房夢蒸染、松川温泉、松川地熱発電所と、名勝、施設が数多くある。特に、春の新緑から秋の紅葉シーズンには、景観に見張る絶景のところがあり、観光客も増加している。トレッキング利用の遊歩道を整備し、滞在型観光振興を図るべきと思うが。

**市長** 近年の観光客のニーズをとらえた場合に、滞在型を主体とするものでもあり、遊歩道の必要性は十分に認識している。市として

県に対し、松川までの早期の道路改良の要望を行い、併せて歩道整備や駐車帯の設置について県へ要望する。

## 観光エリア7カ所の 地区住民の参画状況

**北口議員** 総合観光振興に

おける行政と民間がそれぞれの役割を担い、お互いに補完し合いながら観光振興を推進するため、観光協会との連携を図るということだが、7カ所に分類している観光エリアにおける地区住民の参画も重要と考える。今後の施策について何う。

**市長** 八幡平市観光振興計画をことし3月に策定した際に、参画いただいた委員

会の構成メンバーの方々に地区代表者も入っているのですが、それぞれの地区として地域資源の活用を期待するものであり、市としても積極的に支援してまいります。



「柏台」(写真)をはじめ、一部の道路標識に取り付けられている住所表示

# 一般質問 ここが



八起会 高橋 守 議員

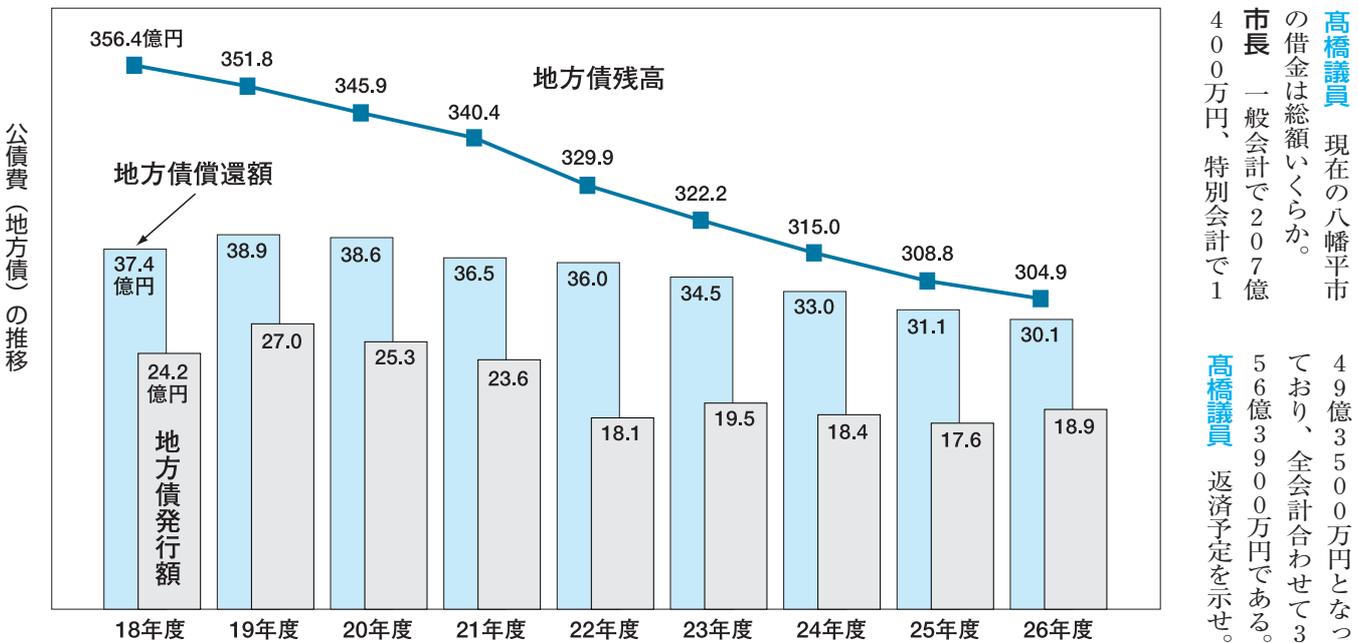
# 聞きたい

## 今回質問した項目

- ・市の借金について
- ・簡易舗装について
- ・スクールバスの利用について

## 八幡平市の借金

# 合計で356億3,900万円



**高橋議員** 現在の八幡平市の借金は総額いくらか。  
**市長** 一般会計で207億4000万円、特別会計で1

49億3500万円となっており、全会計合わせて356億3900万円である。  
**高橋議員** 返済予定を示せ。

公債費（地方債）の推移

**市長** 18年度では、全会計の地方債償還額は37億3900万円である。  
**高橋議員** その中で交付税に算入予定額はいくらか。  
**市長** 交付税に算入される償還金の算入額は19億5400万円、算入割合は52%となっている。  
**高橋議員** 本年度以降、起債を起す予定を示せ。  
**市長** 平成26年度までに合わせて168億3900万円の発行と見込んでいる。この間の返済額は278億6700万円、うち元金は219億8900万円である。8年後の地方債残高は304億8900万円、18年度に比較し約51億5600万円減の見込みである。  
**高橋議員** 本市で理想とされる起債の上限はいくらか。  
**市長** 平成17年度においては17.9%であった実質公債費比率を、最終的には15%以下にすることを目標として取り組んでいきたい。

### 簡易舗装や軽舗装の実施状況と実施予定

**高橋議員** 昨年度の簡易舗装の実施状況を示せ。  
**市長** 切削材舗装を実施した路線については9路線で、実施延長は3.46キロである。アスファルトを使用した軽舗装については1路線で、実施延長は248メートルである。  
**高橋議員** 本年度の実施予定は。  
**市長** 費用対効果の高い市道や生活道路を主体に整備し、15路線程度を本年度実施したいと考えている。  
**スクールバスの利用 修学旅行に使えるか**  
**高橋議員** スクールバスの保有台数は何台か。  
**教育長** 松尾に4台、安代に6台あり、西根には学習バスつばさ号が1台ある。  
**高橋議員** 修学旅行時にスクールバスの利用ができなくなるのか。  
**教育次長** あるものは有効に利用したいという教育長の基本的な考え方を生かし、今後も続けていきたい。団体割引がきかない小規模学校は、親御さんの負担の格差があるので、その点を考慮し、市のバスを使つての支援は必要だと考えている。



日本共産党 米田 <sup>ただ</sup> <sup>お</sup> 定男 議員

## 今回質問した項目

・新庁舎建設問題について

## 住民の怒りの声を受け止めるべき

## 情報提供し市民・議会の判断を

**米田議員** 今住民の立場から見れば、新庁舎建設をストップさせることが政治における最大の課題であると認識からの質問である。

一つは、基本的な問題として現在の厳しい住民の暮らしの状況、市政の状況からいって建設するべきではないということである。

政治の最大の役割は住民の暮らしを守ることにある。しかし、今住民の暮らしの実態は深刻な状況にある。雇用問題、産業の不振、後継者問題、年金への不安など、生活の困難さと将来への不安が満ちていると言っても過言ではない。

今ほど住民の暮らしを守ることを最優先にした政治が求められている時はない。また、市政の問題では、財政危機を克服し、本気で財政改革を進めようとする

なら、無駄な大型公共事業を排除することが避けられない課題である。

しかし、新庁舎建設は無駄な大型公共事業の典型である。なぜなら、現在活用され、今後も長期間使用できる庁舎が存在しているという事実の前には、それ以上の新たな建設理由などないからである。

二つは、「庁舎建設は合併協定で決まったこと」として強行することの非民主的な政治の在り方の問題についてである。

確かに合併協定で決まっているのは事実であるが、それを住民が認知している訳ではない。それは例えば、旧松尾村では住民アンケートによって合併反対が明確に示されたことでも明らかである。

民主的な政治の基本は住

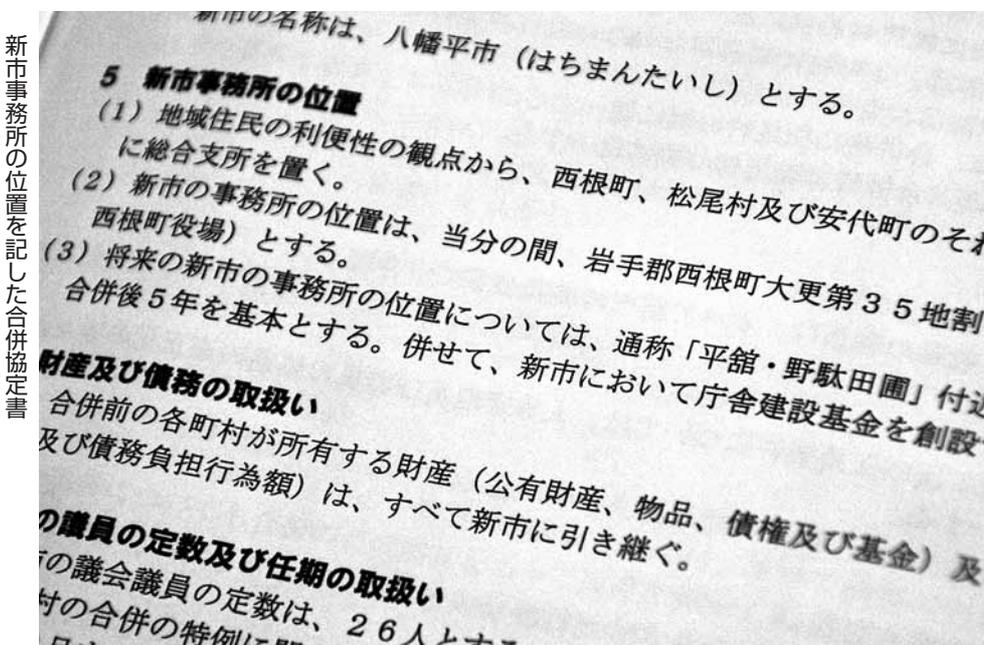
民の意思を尊重することにある。住民の怒りの声を深く受け止めるべきである。

**市長** なぜ新庁舎が必要なのか、根本は合併協定である。それを尊重するのがわたしの立場である。

その他の理由として一つは、現庁舎が狭く業務執行に支障を来していることがある。

二つは、松尾庁舎が老朽化して大規模な改修が必要とされること。そして新庁舎は一体的な発展形成に向けての拠点施設と位置付けられるものであり、有利な期限内に建設する必要があるとの認識である。

検討委員会を立ち上げたが、建設のための検討ではなく客観的なデータを積み重ねて、市民に提供する。その上で市民、議会に判断してもらおうことになる。



新市事務所の位置を記した合併協定書

# 一般質問 ここが



# 聞きたい

今回質問した項目

日本共産党 高橋悦郎 議員 ・ 合併による格差是正について

## 保育料軽減や検診料無料の維持

### 財政運営の状況などを把握

旧安代町の基準に統一したため、西根地区の3歳未満児は、保育料が最大15,000円下がりました(写真・平館保育所)



**高橋議員** 保育料、検診料が旧安代町の基準に統一された。保育料で約4000万円、検診で10000万円、合わせて50000万円を市

が新たに負担している。このサービスは八幡平市として県下に誇れる素晴らしい内容であり、今後ともぜひ維持していくべきと考える。

問題は、そのための財源であるが、今は合併による国の支援がある。特別交付税への上乗せであるが、これは3年間のみだ。この国の支援が終わった後も現行のサービスを維持することが求められるが、当局の考えを伺う。

**副市長** 現在実施している検診の無料化、保育料の58%軽減は福祉対策の中で大変重要な事業と認識している。これらの事業は合併してから3年間、格差是正ということでも6億円強が特別交付税に算入され、それを財源として実施してきた。今後大きく交付税が減る時期が来るので、これらの事業を今後ともずっと続けられるかどうか財政運営の状況、財政確保の状況を把握した上で、事業継続ができるかどうかを議論したい。

**老人クラブなどへの補助金減額はなぜか**  
**高橋議員** 市の政策的支出である一般会計からの各種補助金が、合併前の平成16年と合併後の平成19年を比較すると7979万円減っ

ている。例えば、老人クラブへの補助金が340万円から234万円へと69%に、自治会、町内会への補助金が906万円から705万円へと78%に減額になっている。これらは、合併によって政策的な支出が減らされていると判断せざるを得ない。

今、集中改革プランが盛んに行われているが、予算編成時にこれらの補助金がいよいよ玉になっているのではないかと。年間に2億円の庁舎建設積立をしているが、その犠牲になっているのではないかと。

**市長** 補助金については、実態としてそんなに減額になっていないと認識している。老人クラブを引き合いにした質問だが、わたしも老人クラブの重要性というものには認識している。老人クラブはもっと体制強化をしてもらい、補助金も差し上げたいと考えている。庁舎建設は一過性のもので、未来永劫に負担が続くものでない。行革プランを確実にやることで福祉政策が継続的にできるものだと認識している。



政高会 田中 榮司夫 議員

## 今回質問した項目

- ・市民の現実課題対策について
- ・独特な学力向上対策について

# 市民所得の向上・生活向上が優先

## やる気と工夫次第

**田中議員** 市の将来像を實現する多くの施策体系の具体化を可とするも、今市民の現実問題は生活の向上にある。よって地場産業の抜本的振興策による農家などの所得倍増が必須と考えられるが、どうか。

**市長** 弱小農家の救済策はどうなのか、という趣旨の質問だと理解しているが、小規模農家でも所得を得る方法はやる気と工夫次第でたくさんあると思っている。一人暮らしの高齢者の奥さんが「道の駅」に一生懸命に努力して製品を開発しながら十分な所得を得ていることも間近で見ている。そういう意味で、わが市のあちこちに直売所を開かせていただいている。どうかやる気をだして、どういふものをどう生産すれば高く売れるか、そういうことを

ぜひ考えていただき、技術開発をしながら技術を磨いて消費者に喜んで買ってもらう信賴品を生産することによって、少ない面積でもある程度の所得を上げ、暮らしが向上できるのではないか。今後そういう点の指導を重要視していきたい。

**田中議員** 企業誘致や雇用対策に専門者をもって徹底してはどうか。

**市長** 現在の経済状況、生産状況から企業誘致というのは非常に厳しいものと認識されるが、何とか企業が来てくれるような環境づくりに努力し、さらに八幡平市の有利性を生かし、徹底してアピールしていきたい。平成17年の新市発足時には企業立地係を1人、18年からは専門の企業誘致対策監1人を配置して、2人体制で企業立地推進、企業家

支援、誘致企業の育成フォローアップなども行って、企業誘致や雇用の場の確保に全力を注いでいる。市における昨年度は、西根地区にエナーテック株式会社、本年度は松尾地区八幡平トラウトガーデン区域に株式会社エコワを誘致でき、雇用の増大を期待している。

**市の発展は子育てにもっと支援の方策を**

**田中議員** 市の発展、繁栄は子育て（人口増）にあることは周知だが、対策は十分でないのでは。

**市長** 市は安心して子どもを産み育てる環境づくりを目指して、基本理念に八幡平市次世代育成支援行動計画を策定し、対策の推進に当たっている。保育所料金を基準額に対して県内市町

村でも4番目の58%軽減しており、第3子以降無料化により保護者の経済負担減を図っている。また市の単独事業として、第3子以降を出産した場合、出産祝金を

を1人5万円支給しており、子育て親子が気軽に集い、交流を図る集いの広場も常設し、子育て支援対策をフルに実施しているところである。



赤松どおりふれあい館産直組合の皆さん（写真：月刊「農業普及」平成19年4月号。撮影：坂本廣美カメラマン）

# 議会の動き (5月~7月)

## ◎ 5月

- ▶ 16日 会派代表者会議
- ▶ 30日~31日 平成19年度岩手県市議会議長会定期総会 (議長、副議長)

## ◎ 6月

- ▶ 1日、4日~5日 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会平成19年度第1回要望会 (議長)
- ▶ 7日 会派代表者会議
- ▶ 11日 議会運営委員会
- ▶ 14日~20日 八幡平市議会第2回定例会
- ▶ 14日 議会広報特別委員会
- ▶ 15日 教育民生常任委員会
- ▶ 15日 産業建設常任委員会
- ▶ 15日 市議会政務調査会総務部会
- ▶ 18日 全国温泉所在都市議会議長協議会第36回総会 (副議長)
- ▶ 19日 全国市議会議長会第83回定期総会 (副議長)
- ▶ 20日 全国過疎地域自立促進連盟理事会・総会 (副議長)
- ▶ 27日 川又正三郎氏死去 (87歳・矢神) = 昭和43年から安代町議会議員を1期
- ▶ 29日 議会広報特別委員会

## ◎ 7月

- ▶ 2日 平成19年度雫石東八幡平奥地産業開発道路推進協議会総会 (議長ほか)
- ▶ 3日 全国自治体病院経営都市議会協議会第65回理事会・第35回定期総会 (議長)
- ▶ 4日 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会平成19年度定期総会 (議長)
- ▶ 4日 市議会政務調査会教育民生部会
- ▶ 5日 市議会政務調査会総務部会
- ▶ 9日 平成19年度岩手県知事等に対する実行運動 (議長)
- ▶ 10日 議会広報特別委員会
- ▶ 11日 市議会政務調査会産業建設部会
- ▶ 13日 県選出国會議員、国の省庁に対する実行運動 (議長)

## 事務局日記

田山小の3年生を代表して、川又みさとさんから手紙をいただきました。先日の議場見学(2ページの写真参照)に対するお礼の手紙で、一番高い席(議長席)に座った感想などが丁寧に書かれていて、とてもうれしかったです。7月12日には、松野小の3年生も見学に来ました。「僕たちも見学してみたい」という方は、お気軽にどうぞ。(勇孝)

# 請願・発議案 全4件を採択・可決

6月定例会では、請願3件、議員による発議案1件が提出され、審議の結果、いずれも採択・可決しました。審議した請願・発議案は次のとおりです。

### ▼市道大更駅東線から市道赤森松子線を結ぶ生活道路の改良整備を求める請願

(請願者・両沼自治公民館 長千葉孝志氏ほか140人) ≡写真①≡

この請願は、近年アパートや住宅が立ち並び、交通量が増加した当該道路における交通事故防止と、地域

住民の生活環境向上を目的に提出されたものです。(全会一致で採択)

### ▼法定外公共物(道路)大更37地割地内根別踏切付近より八幡平市総合運動公園北側周辺道路の道路環境整備を求める請願

(請願者・北村行政区行政連絡員工藤正雄氏ほか308人) ≡写真②≡

真② ≡  
この請願は、当該道路における交通事故防止と、地域住民の生活環境向上を目的に提出されたものです。(全会一致で採択)

### ▼私学教育を充実・発展させるための請願

(請願者・私学助成をすすめる岩手の会)

この請願は、過疎地域の私立高校に対する私学助成金の充実を目的に提出されたものです。(全会一致で採択。併せて発議案が可決され、衆・参両議院議長と内閣総理大臣ほか関係大臣、および岩手県知事に意見書を提出)



写真① (市道大更駅東線から市道赤森松子線を結ぶ生活道路の現場)



写真② (根別橋踏切付近より八幡平市総合運動公園北側周辺道路の現場)



## 隠れた名所探訪⑤

# 七時雨一里塚

一里塚がある旧街道は、盛岡市紺屋町を基点に、旧西根町や旧安代町を経て秋田県鹿角市に至る鹿角街道です。古の旅人が歴史をつないだ貴重な一対の一里塚が草木の中に保存されています。塚の規模は、高さ約1.8m、裾幅約7m、両塚間の道幅約5mで、360年前には築かれていたと推測されています。(場所：安代地区の国道282号から、大きな鳥居のあるT字路を不動の滝方向に曲がり、約1km先を左折。約2.7km先の道路沿い右側)



産師さんと話をする機会がありました。平素、子育て支援とか、少子化対

議員改選後の新しい広報委員による議会だよりも、早くも6回目となりました。私も広報委員の末席に加えていただき、編集に携わって1年過ぎましたが、一番口惜しいのは、掲載スペースの関係で議論したことの一部しか載せられないということです。本当はもっと多くの内容の濃い議論がなされているのですが...

ところで先日、ある助産師さんと話をする機会がありました。平素、子育て支援とか、少子化対

一人でも多く読んで、りたいと願いを込めて、今回は最年少委員が「あとがき」を担当しました。広報特別委員 工藤 剛



工藤 剛

### あとがき

策などともっともらしく語ってきた私ですが、多くの赤ちゃんを實際に取上げてきた経験に裏付けされたナマの声は、本当に母親に必要な支援とは何かという事を、改めて考え直させられました。八幡平市でも7月から助産師さんに手伝ってもらうことになりましたが、子育て支援に限らず、あらゆる分野で行政は市の発展のため努力し、それを議会がチェックします。そして、その内容は議会だよりでできるだけ詳しく、市民の皆さまにお伝えしたいと思います。

### 表紙紹介

写真上⇨寄木保育所の園児たち  
写真下⇨安代地区・目名市にお住まいの立花良悦さんご家族（前列左から父母の運吉さん・ヨスさん夫妻。後列左から二男の和也さん、良悦さん・盛子さん夫妻と孫の結来ちゃん、長男夫妻のますみさん・任さん）